

漢方 婦人科 産科
浮田医院
だより



第 13 号

発行所：産科 婦人科 漢方
浮田医院
〒520-1214 滋賀県高島郡安曇川町末広3丁目28
TEL 0740-32-3751
FAX 0740-32-3795
http://www2u.biglobe.ne.jp/~ukita/
発行日：平成11年4月5日(月)
発行者：浮田 徹也



漢方薬のよさ (13)

瘀血おけつ(循環障害) I



若葉が出て、深緑の色増す季節です。私たちが長い間培い、育んできた漢方医学的考え方を理解していただき、漢方薬の効く病気を知ってもらうために、今月から11月まで、『瘀血』と言う概念の説明をしてみましよう。『瘀血』は、血液の停滞(よどみ)。(血管内、特に毛細血管での鬱血)の病態です。別な言い方をすれば、『微小循環障害』で、血液が粘々(血液粘度の上昇)し、赤血球がひとかたまりになって流れたり、貨幣を積み重ねたような形にひっついて流れ、微小血栓ができてやすい状態と言えます。また、異常なストレス(怒り、不安、いさかい、イライラ)によって、血管の筋肉が収縮し、血流が減少する傾向のある状態でもあります。

一八〇〇年前の書物で、『金匱要略』と言う古医書があります。その中で、『瘀血』のことが、次のように記載されています。『病人の胸部が膨満し、唇がカサカサにしなびて、舌の色が青く、口が渴いて、口を水で



リスボン(門出)

すぎたいと思うが、水を飲みたいとは思わず、寒熱に関係なく、脈はわずかに大きくて、遅脈、腹部の膨満感を訴えるが、実際には膨満していないといったような症状がある。また、病人は発熱しているようで胸苦しく、口が乾燥し、喉が乾くが、脈拍には熱証が認められないのは、熱が潜んでいるためで、これは瘀血である。』
もう少し具体的に、わかりやすく説明しましょう。瘀血体質の方は、顔色がどす黒く、目の下に、くま、色素沈着、がでさやすく、皮膚はカサカサで、手や足が荒れ、冬はあかぎれることが多くなります。下肢の血管が太く青しんだり、細絡と言って、赤紫色の細い血管が何本も見られます。また、下肢や手やお腹に青筋が見られ、皮膚に知らないうちに青あざができていくこともあります。鼻血や歯みがきの出血も起こりやすくなります。お腹が膨満して苦しい方が多く、便秘の傾向が見られます。腹を立てやすく、些細なことでもイライラし、もめ事を作っ





たり、不安になったり、眠れなくなったりしてきます。人混みや温かい場所に行くと、顔がほてりやすく、赤ら顔になってきます。夜間や朝方、口が乾いたり、口の中が粘ってくる方もたくさんおられます。時に、手の平や足の裏が熱くほてり、そのために眠れなくなる方もおられます。爪の色が暗赤色に変化したり、手やお腹の皮膚が褐色調になって、黒ずんでくる方もおられます。女性の場合、月経異常になりやすく、生理痛、過多月経、過少月経、頻発月経、稀発月経、無月経、不正出血、月経前乳房痛、排卵期出血、排卵痛、子宮内膜症、子宮筋腫・などなどに苦しめられることが多くなります。では、実例を挙げてご説明しましょう。

31歳女性、「冷え症」「生理前の下腹部痛」を訴えて来院されました。顔色は青白く、目の下にくまがあり、体格は、きゃしゃで細く、お腹は柔らかく、筋肉の緊張弱く、みぞおちで、ジャブジャブ音がする。舌は淡紅色、薄白苔、舌の周辺に歯の痕が見られる。脈は細く、遅い。超音波検査、内診、子宮癌検査、血液検査に異常なし。そこで、当帰芍薬散と附子を処方しました。4週間で、症状はほぼ消失しましたが、およそ2年服用していただきました。その後、3年経ちますが、ほぼ満足のいく状態です。

49歳女性、「便秘」「冷えのぼせ」「月経痛」（月経時むくみ、頭痛、めまい）「足の裏のほてり」「不眠」で苦しんでおられました。この症状は、分娩後次第に強くなってきたそうです。顔は赤くのぼせ、大柄で、骨組みもしっかりし、お腹は硬く、腹直筋も緊張し、左下腹部に圧痛を認めました。舌は紅紫色、薄黄苔。脈は沈んでいましたが、力強く感じられました。超音波検査、内診、子宮頸癌検査、血液検査に異常なし。そこで、桃核承気湯を処方いたしました。4週間後、症状の大半は消失しましたが、お腹がなかなか柔らかくありませんでしたので、5年後の現在でも服用していただいています。



「院長」



子宮筋腫

子宮筋腫は、良性の平滑筋腫ですが、過多月経（貧血）、月経痛、不妊症などの原因の一つです。また、子宮体癌、卵巣腫瘍、子宮肉腫と区別するため、超音波検査、血液検査（腫瘍マーカー、肝機能検査、貧血検査）、尿検査（検尿、尿沈渣）、細胞診・組織診（頸癌検査、体癌検査）、CTやMRI検査を利用します。重症貧血、悪性疑い、疼痛を伴う場合は手術を勧めています。しかし、大部分の場合、月経量を調節したり、月経痛を改善したりできますから、筋腫なら手術と、直ぐに考えることはありません。筋腫になった体質（瘀血）を改善するように漢方薬を服用されれば、ほとんどの方は手術しなくて済みます。瘀血体質がなくなるまで、根気よく漢方薬をお飲み下さい。



不妊症

赤ちゃんに恵まれない方のお手伝いをいたします。原因を調べるため、ご夫婦でお越し下さい。基礎体温、精液検査、ホルモン検査、子宮や卵巣や卵管検査、頸管粘液検査、卵胞検査、性交後検査（フナー検査）等を実施して、原因を明らかにすることが必要です。そして、原因に応じた治療を選択いたします。ホルモン治療が中心になる場合でも、不妊症体質を少しでも改善できれば、治療効果が違ってきます。特に明らかな異常を認めない場合、不妊症体質の改善がキーになってきます。体質改善法の一つとして、当院では、漢方薬を使用しています。



当院の漢方治療のお知らせ



剤型について

- ・エキス漢方：エキス顆粒の漢方薬（大部分“粉薬”、一部錠剤）。携帯に便利です。
- ・煎じ薬：お茶の様に煮て作ります。必要な生薬を組合せて“漢方薬”を作ります。

当院のエキス漢方は、胃になじみやすい反面、湿気に弱いので、乾燥剤の入った容器に入れ、しっかり蓋をして下さい。それでも、湿める場合、冷蔵庫で保管して下さい。漢方薬が湿りやすい場合、当院の“漢方専用容器”（無料）をご利用下さい。

適応症について

- ・すべての疾患に適応できます。便秘、頭痛、肩凝り、腰痛、食欲不振、疲れ、冷え、むくみ痛み、動悸、ほてり、排尿障害・・・などあらゆる症状に対応できます。
- ・漢方薬のよく効く疾患
アトピー性皮膚炎、更年期障害、肩凝り、腰痛、便秘症、子宮内膜症、生理痛、冷え症、子宮筋腫、低血圧症、過敏性大腸炎、慢性肝炎、慢性疲労、めまい、頭痛、下痢、風邪、肥満、慢性膀胱炎、夏ばて、慢性中耳炎、慢性副鼻腔炎、慢性扁桃腺炎、前立腺肥大、蕁麻疹、接触性皮膚炎、帯状疱疹後神経痛、神経痛、膝関節症、虚弱児、クーラー病、切迫流産、切迫早産、妊娠中毒症
- ・漢方薬と西洋薬を併用することの多い疾患
高血圧症、アレルギー性鼻炎、糖尿病、骨粗鬆症、痔、肝硬変、肝臓癌、喘息、腎炎、脳梗塞後遺症、脳出血後遺症、抗癌剤使用時倦怠感、関節リウマチ・・・など

エキス漢方と煎じ薬について

- ・軽症の病気：漢方製剤（エキス顆粒）を組合せて治療します。
- ・中程度の病気：漢方製剤と単味の生薬エキス顆粒を組合せて治療します。
- ・重症の病気やエキス顆粒無効の場合
煎じ薬を使います。より細やかに治療できますので、治療効果も優れています。オーダーメイド漢方ですから、エキス漢方と比べ、より優れた効果が発揮されます。

女性の方に限らず、男性の方や子供の方もご相談下さい。

問診、望診（舌診）、聞診、切診（腹診と脈診）の東洋医学的診断法（四診）や検査（超音波、血液、尿、便、心電図、骨塩量測定・・・）などを利用して、“漢方薬”の決定をします。

当院のホームページ

現在は、漢方のホームページのみですが、近々、産科と婦人科のホームページもできあがります。
<http://www.2u.biglobe.ne.jp/~ukita/>

各種軟膏・点眼薬・点鼻薬

各種軟膏（痒み止め、非ステロイド軟膏、ステロイド軟膏、抗生物質、抗真菌剤、補湿剤・・・）、点眼薬（抗菌剤、抗生物質、抗アレルギー剤）、点鼻薬（抗アレルギー剤）、吸入薬（喘息）、口腔内用（口内炎用軟膏、口内炎用貼付剤、抗真菌剤、含嗽剤）、湿布薬（冷湿布、温湿布）、痔用（軟膏、座薬）など処方できます。

漢方入浴剤

お風呂で、漢方薬草風呂としてご利用下さい。
美芳湯：冷え症、湿疹、あせも、にきび
昇竜湯：神経痛、腰痛、肩凝り、疲労回復
症状に応じた【漢方薬草剤】もお作りします。

レシート及び領収書の保管

レシート及び領収書の再発行はいたしません。大切に保管して下さい。

処置診

処置、検査、点滴、針の場合【受診者名簿】の【処置診】の欄に、【氏名】をお書き下さい。

皮内針

針の長さは1～2mmで、刺す時の痛みはありません。お気軽にご相談下さい。
〔適応〕肩凝り、腰痛、神経痛、筋肉痛・・・

骨量測定

極少量のX線吸収を利用し（DEXA）、1分で測定できます。結果は、直ぐにお渡しします。骨量の心配な方、お申し出下さい。

駐車場

- ・北駐車場（日曜・祭日・祝日：終日閉鎖）
月・水・金：午前8:30～夕方診終了まで
火・木・土：午前8:30～午前診終了まで
- ・東、南駐車場：終日駐車可能

外 来 診 療 時 間

	月	火	水	木	金	土	日
午 前	一般外来	妊婦外来	漢方外来	漢方外来	妊婦外来	一般外来	—
夕 方	更年期外来	—	不妊外来	—	漢方外来	—	—

午前の診療(月～土)：午前9:00～正午 夕方の診療：午後5:30～午後7:30
 火曜日の午前診療：午前11:00～正午：産後検診(新生児,母親)、乳児健診を優先いたしますので、ご了承下さい。
 水曜日の夕方診療：妊娠中の方の定期健診はご遠慮下さい。急患の場合は、この限りではありません。
 漢方外来・一般外来：男性の方、女性の方、子供、どなたでもお越しください。

前期と中期－母親教室のお知らせ

日時：4月20日(火) 6月1日(火)
 対象：妊娠7ヶ月までの方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階

お気軽にご参加下さい。ご主人もご一緒に参加されませんか？
 申し込み方法：申し込みノートにご予約ください。

後期－母親教室のお知らせ

日時：4月13日、27日 5月11日、25日 6月8日(火)
 対象：妊娠8～10ヶ月の方(定員5名)(無料)
 場所：当院1階

皆様方のご希望に答えて、後期母親教室の回数をできるだけ月2回にいたします。

母親教室と産後の集いティータイム

今月は“ハーブクラフトブレッド”と“ミルフィル・オ・フリーズ
 (いちごのミルフィル：Mille-Feuille Aux Fraises)”です。

“ハーブクラフトブレッド”には、ローズマリー、セージ、タイム
 といったハーブを入れました。

“ミルフィル・オ・フリーズ”のパイ生地は、もちろん手作りです。
 サンドしてあるクリームは、生クリームとカスタードクリームを使っ
 ていますが、甘さをかなり控えてみました。赤いイチゴがとてもかわいく
 見えませんか？目でもお楽しみ下さい。

紅茶にも、自信がありますので、ご期待下さい。



N S T

この検査は、赤ちゃんの状態(予備能力)を予知するためにいたします。赤ちゃんが低酸素状態(胎児切迫仮死)の時、異常な所見が出現してきます。どのような時かと言いますと、子宮内胎児発育不全、妊娠中毒症、臍帯巻絡、胎盤早期剝離、前置胎盤、切迫早産、胎盤機能不全、各種疾患(貧血、糖尿病、脂質代謝異常、喘息、心臓病・・・)などの時に、有効な検査です。また、陣痛が始まりかけた時に実施すれば、陣痛の持続時間や間隔を知ることできます。お腹に、赤ちゃんの心音を計測するプローベと陣痛を計測するプローベを装着し、胎動を感じた時に、ボタンを押していただきます。妊娠28週頃から始めています。



入院食

厨房のスタッフが心をこめてお作りします。皆様方に安心して食べていただけるよう、塩分、糖分、カロリーに気をつけ、素材は十分に吟味し、薬膳料理も取り入れています。

従業員募集

看護婦、助産婦、看護補助(外来補助、病棟補助)、受付(医療事務免許必要)、清掃勤務の方で、常勤あるいはパート勤務できる方、ご連絡下さい。
 面接：随時、各種保険加入、賞与：年2回、交通費支給

第6回妊婦のための料理教室

日付：平成11年6月11日(金) 時間：午前10時～午後2時
 対象：妊娠中の方(無料) 献立：ミニフランス料理

赤ちゃん健診(2と3カ月)

赤ちゃんの2カ月健診、3ヶ月健診もしています。
 日時：毎週火曜日、午前11時～正午(2000円)

産後の集い

【お母さんと赤ちゃんの相談】のための時間です。
 【手作りケーキとお菓子】もお楽しみ下さい。
 日時：5月18日(火) 午前11:00～午後12:30
 申込：申込ノートにご予約下さい。定員：5名(無料)